



## 平成 16 年度第一回幹事会議事メモ

## PF 懇談会講習会のご案内 平成 16 年度「放射光利用研究基礎講習会」

放射光科学第一研究系 間瀬一彦 (PF 懇談会行事幹事)

日時：2004 年 9 月 24 日 (金) 9:15-17:15

場所：KEK 4 号館, 1 階セミナーホール

内容：最新の放射光技術と利用研究について、専門の方々にわかりやすく解説していただきます。最新の情報はホームページ ([http://pfwww.kek.jp/pf-seminar/pfkonankai\\_kisokoshukai.html](http://pfwww.kek.jp/pf-seminar/pfkonankai_kisokoshukai.html)) に掲載しております。

主催：PF 懇談会

協賛：日本放射光学会, SPring-8 利用者懇談会, SPring-8 利用推進協議会, SuperSOR 利用者懇談会, UVSOR 利用者懇談会, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 広島大学放射光科学研究センター, 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター, 産業技術総合研究所, 立命館大学 SR センター

プログラム：(講義の間の休憩は 15 分)

9:00 受付

9:15 「放射光源の概要」, 本田 融 (物構研) (75 分)

10:45 「真空紫外・軟 X 線ビームラインと利用研究」

雨宮健太 (東大院理) (75 分)

12:00 昼食 (1 時間)

13:00 「X 線ビームラインとイメージング研究」

平野馨一 (物構研) (75 分)

14:30 「放射光利用分光研究」

尾嶋正治 (東大院工) (75 分)

16:00 「放射光利用回折・散乱研究」

澤 博 (物構研) (75 分)

17:20 PF 見学 (希望者のみ)

参加費：PF 懇談会会員および KEK メンバーは無料。

協賛団体会員：2000 円, 非会員：4000 円

(会員, 非会員共テキスト代込み。学生は 1000 円)。

申込み締切り：2004 年 9 月 10 日 (金)

定員：80 名。

申込み方法：上記ホームページの「参加申込みフォーム」にて必要事項を入力してお申込みください。また、テキストを 1 部 1000 円で販売します。「参加申込みフォーム」にてお申込みください。

宿舍予約：高エネルギー加速器研究機構の宿舍に宿泊を希望される方はホームページを参照してお早めに申込みください。事情により宿舍が確保できない場合はご諒承願います (申し訳ありませんが民間の方はご利用できません)。

問合せ先：高エネルギー加速器研究機構

PF 懇談会行事幹事 間瀬一彦 (mase@post.kek.jp)

TEL: 029-879-6107, FAX: 029-864-2801,

日時：2004 年 6 月 18 日 (金) 10:00 ~ 12:30

場所：PF 研究棟 2 階会議室

議題：2004 年度活動方針

出席：雨宮慶幸 (東大, 会長), 斉藤智彦 (東京理科大, 利用), 高橋敏男 (東大, 利用), 佐藤衛 (横浜市大, 行事), 宇佐美徳子 (PF, 利用), 田中雅彦 (PF, 庶務), 土屋公央 (PF, 会計), 間瀬一彦 (PF, 行事), 野村昌治 (PF, 主幹), 森史子 (事務局)

欠席：一國伸之 (千葉大, 編集), 桜井健次 (物材研・広報), 佐々木聡 (東工大, 利用)

### ○活動方針について

雨宮会長からの活動方針案の説明があり、

- 1) PF 将来計画に対する議論の活性化
- 2) ユーザーと PF 間のメッセージボードの役割強化
- 3) ユーザー間のメッセージボードの役割強化
- 4) ユーザーグループの活動の活性化
- 5) 学生・新規ユーザーのための基礎講習会の開催
- 6) 他の放射光施設・利用団体との情報交換
- 7) 会員名簿 (2005 年版) の発行

について活動してゆくとの方針が示され、各項目について実施方法などについて議論した。

### 1) PF 将来計画に対する議論の活性化

利用幹事で将来計画検討のためのグループを作ることが提案され承認された。将来計画に関して PF からの懇談会への打診に対応する窓口となるようにする。取りまとめを、高橋幹事, 佐々木幹事で行い、メンバーについては両幹事と雨宮会長で検討する。

今後は産業界との連携も重要であるため産業界からのメンバーも加えることとする。

### 2) ユーザーと PF 間のメッセージボードの役割強化

懇談会と PF 間の情報の流れを良くするためにメールマガジンを立ち上げることとした。斉藤幹事, 桜井幹事, 宇佐美幹事で枠組みを検討する。全懇談会員向けに原則月一回の発送を目指す。また「拡大運営委員用メーリングリスト」(運営委員, UG 代表者, 幹事) を作ってより詳細な情報も流すようにする。PF ニュースよりリアルタイムな情報かつ PF ニュースと相補的になるようにする。

### 3) ユーザー間のメッセージボードの役割強化

ユーザーグループリーダー会議を開催してはどうかとの提案が有り、了承された。

ユーザーグループの名簿の更新作業を行う。田中幹事担当。

### 4) ユーザーグループの活動の活性化

ユーザーグループ成果発表会を年 1 回程度開いてもらう

ようにしてはとの提案があった。主幹よりユーザーグループのサイエンストピックスをできるだけ早い段階で知りたい/その方法について議論してほしいとの希望があった。これらについてユーザーグループリーダー会議において議論してもらうこととした。

5) 学生・新規ユーザーのための基礎講習会の開催

年2回程度開催する方針とする。

一回はPFの基礎技術全般にわたりPFの全体像が理解できるようなもの。学生やPF初心者向けで、年一回定期的に行う。間瀬幹事が検討する。

もう一回は各専門分野のもの。この専門分野のものについてはユーザーグループリーダー会議で検討してもらうこととした。

6) 他の放射光施設・利用団体との情報交換

合同シンポジウムの中で各施設のユーザーグループ長のミーティングを行うことを提案する。佐藤幹事担当。

7) 会員名簿(2005年版)の発行

2005年6月までに情報を集めて発行する。田中幹事担当。自宅情報の取り扱いには運営委員会で議論してもらう。PF懇談会の歴代の会長、幹事、運営委員を載せてはどうかとの提案があり、まず資料が残っているかを調査することとなった。

8) その他

- ・PFホームページにはPFの紹介などで使える図や写真が少なく充実してはどうかとの提案があった。
- ・産業界の利用を促進するような方法を検討してはとの提案があった。

○委員会への推薦依頼

- ・PFシンポジウム実行委員会への委員の推薦。佐藤幹事が人選して推薦する。4~5名。
- ・放射光合同シンポジウム組織委員にPF懇談会からは佐藤幹事を推薦した旨、報告があった。

○平成16年度予算案について

土屋幹事より配布資料を基に説明があった。

PFニュースへの補助およびPFシンポジウム参加費補助への議論があった。PFニュースへは例年通り40万円補助することとした。PFシンポジウム参加費もひきつづき補助することとし、参加費補助を盛り込んだ予算案を土屋幹事が再度作成する。

○ユーザーグループリーダー会議

7月末か8月頭開催で行う。時期の調整は田中幹事。

○次回幹事会

ユーザーグループリーダー会議と同時開催



## 放射光共同利用実験審査委員会速報

実験企画調整担当 小林 克己  
宇佐美徳子

2004年7月7日、8日に放射光共同利用実験審査委員会が開かれました。審議の結果、以下のような実験課題が採択されました。

1. G型、P型の審査結果。

今年5月7日に締め切られた平成16年度後期のG型、P型の共同利用実験課題申請にはG型209件、P型6件の応募があり、G型200件、P型7件(G型からP型に変更になった1件を含む)、計207件の課題が採択され、不採択が7件、保留が1件となりました。採択課題のうち、条件付きとなったものは5件でした。採択課題名および申請課題に対する評価の分布は別表を参考にしてください。

2. PF研究会

16年度後期に開催されるPF研究会として以下の3件が採択されました。

- 1) 「マイクロビーム細胞照射装置を用いた低線量放射線生物影響研究に関するワークショップ」  
提案代表者：小林 克己、宇佐美徳子(高エネ機構)  
開催予定時期：平成16年12月
- 2) 「第3回粉末回折法討論会：粉末法だからできること」  
提案代表者：井田 隆(名工大)  
開催予定時期：平成16年10月
- 3) 「硬X線を用いたダイナミック構造解析の可能性」  
提案代表者：朝倉清高(北大)、松原英一郎(東北大)  
開催予定時期：平成16年11月

3. その他

1) 現時点では、大学と民間企業の共同チームによる課題申請について、「大学が主導して民間企業と行なう研究は共同利用として受け入れるが、民間が行なうべき研究と思われるものは受け入れることはできない。」という見解が示されました。

2) 来年度の前半にPFの2.5 GeVリングは運転しないが、PF-ARリングは通常通りに運転するので、11月5日(金)締切りの平成17年度前期課題申請は受け付けることが確認されました。また2.5 GeVリング停止期間中、PFの有効課題を持っていればスタンフォードのSSRLを審査なしで利用できる可能性があるため、興味のある方は松下副所長(Email:tadashi.matsushita@kek.jp)までお問い合わせ下さい。